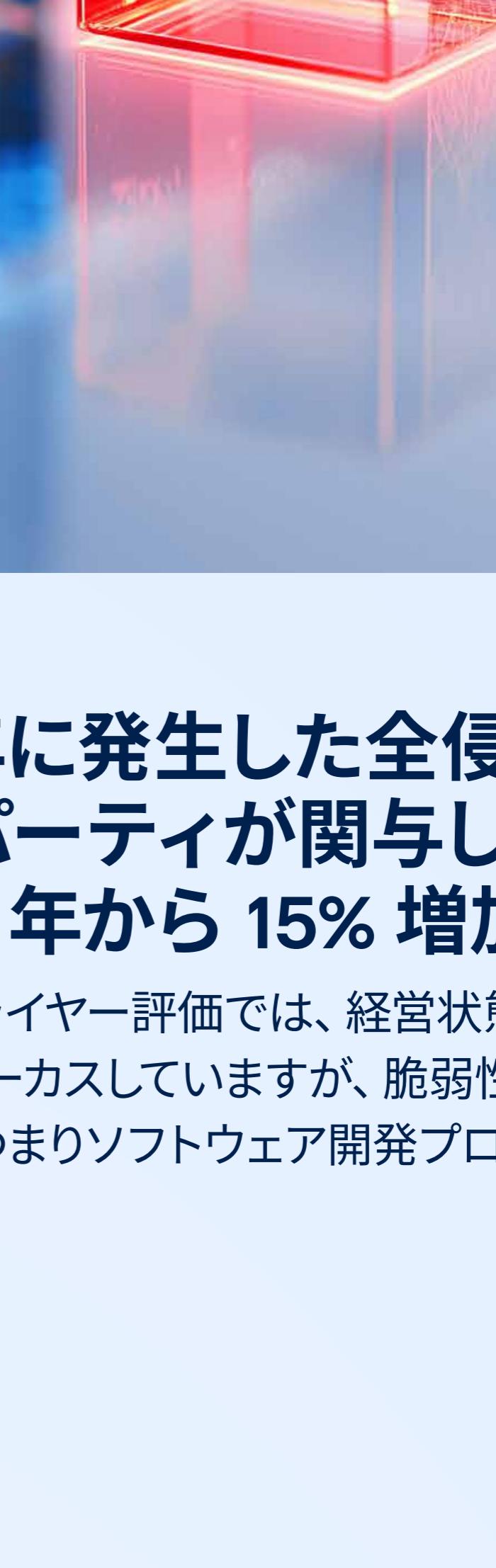


サプライチェーンにおけるセキュリティギャップの解消: SSDLC 評価チェックリスト

サプライチェーン攻撃は、重大なサイバーセキュリティ脅威で、それに対する対策は極めて重要です。SolarWinds、Polyfill.io、3CX、MOVEit の各種攻撃により、攻撃者がソフトウェアサプライヤーを標的としていることで、業界全体に大規模な侵害を招くことが実証されました。



30%

2024年に発生した全侵害のうち、サードパーティが関与していた割合 (2023年から15%増加)¹

従来のサプライヤー評価では、経営状態とインフラセキュリティにフォーカスしていますが、脆弱性が最も多く発生するポイント、つまりソフトウェア開発プロセスを見落としています。

隠れた脆弱性: ソフトウェア開発者プロセス

歴史的なサプライチェーン攻撃

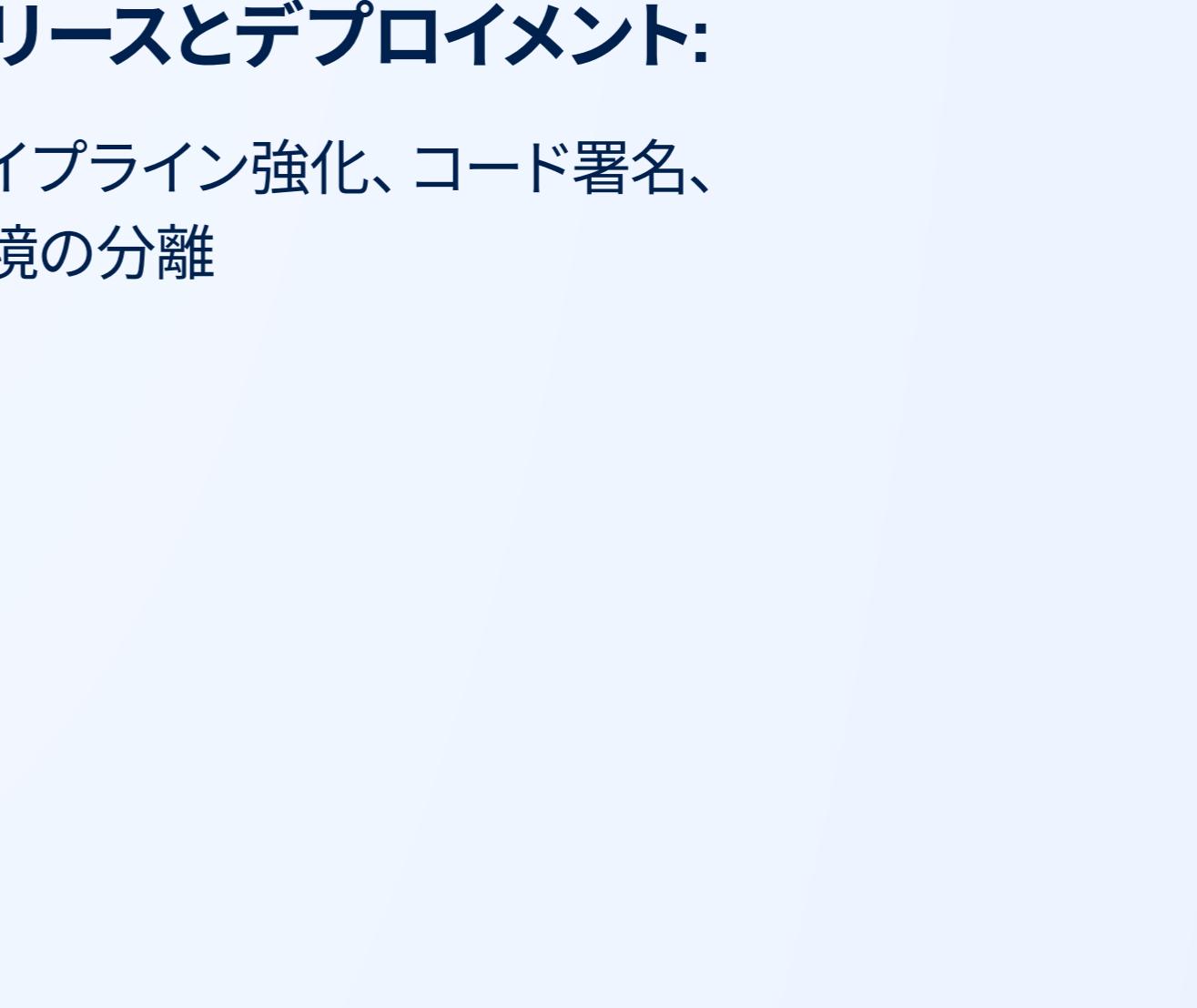
会社名	業種	日付	影響
Polyfill.io	コンテンツ配信ネットワーク (CDN)	2024	数千のウェブサイトに影響
3CX	VoIP サービス	2023	数千の企業に影響
MOVEit	ファイル転送	2023	2,000 以上の組織に影響
SolarWinds	IT ソフトウェア	2020	18,000 以上の組織に対する侵害

ランタイムにおけるセキュリティ管理では、安全性を欠くコードを遅延的に修正することは不可能です。設計期間やコーディング期間に脆弱性が組み込まれた場合、ユーザーはベンダーによるパッチ適用を待たねばならず、その間システムは無防備な状態となります。

セキュアソフトウェア開発ライフサイクル (SSDLC) を導入すれば、設計からリリース後の保守に至るまで、ソフトウェア開発のあらゆるステージにセキュリティが組み込まれます。

ソフトウェア開発の評価方法

エビデンスに基づくセキュリティの保証には、以下の 6 つの側面にわたる評価が必要です。



ガバナンスとポリシー:

文書化されたポリシー、正式なセキュリティロール、経営陣による監督



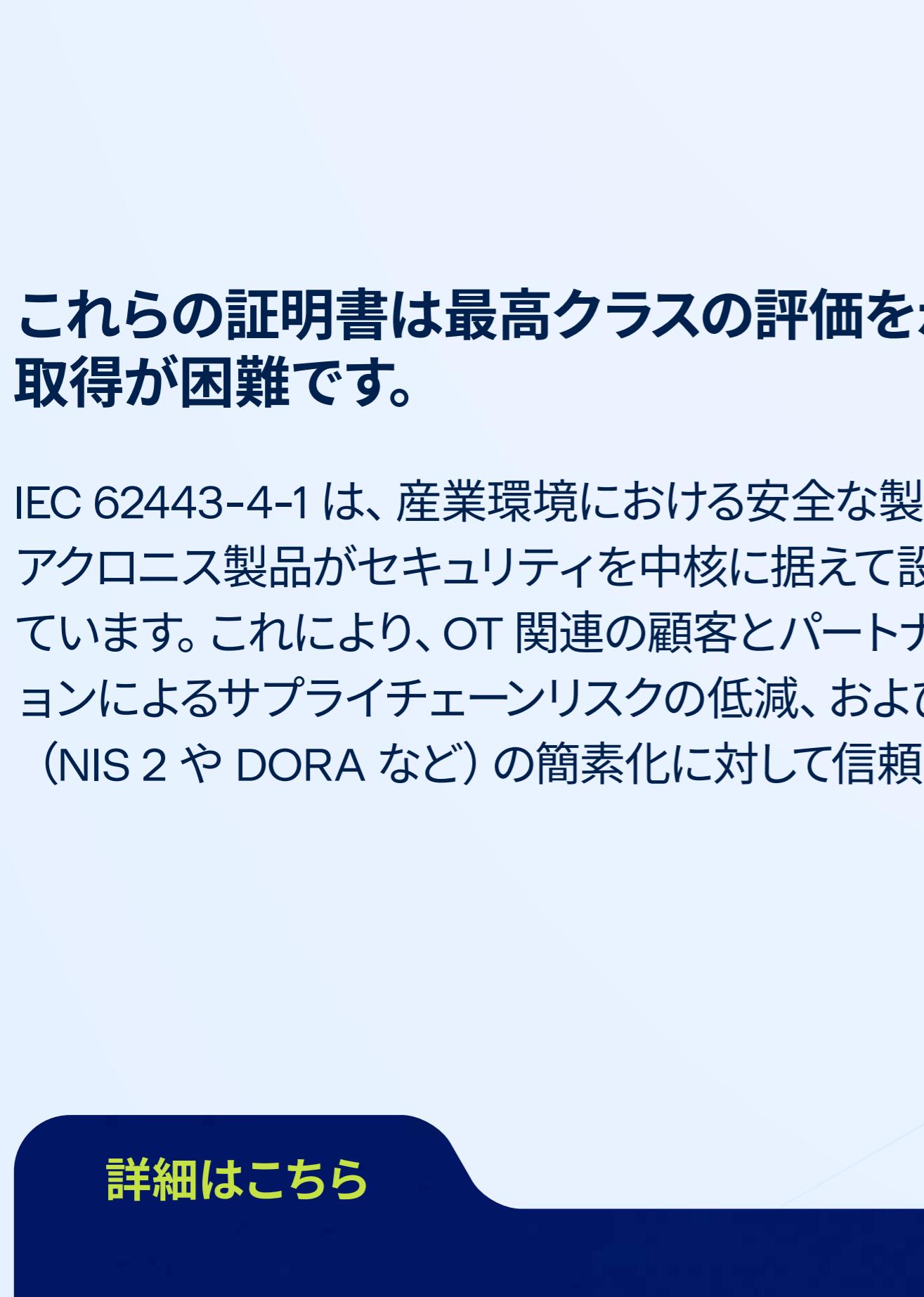
リスク管理と設計:

脅威モデリング、セキュリティ要件、設計評価



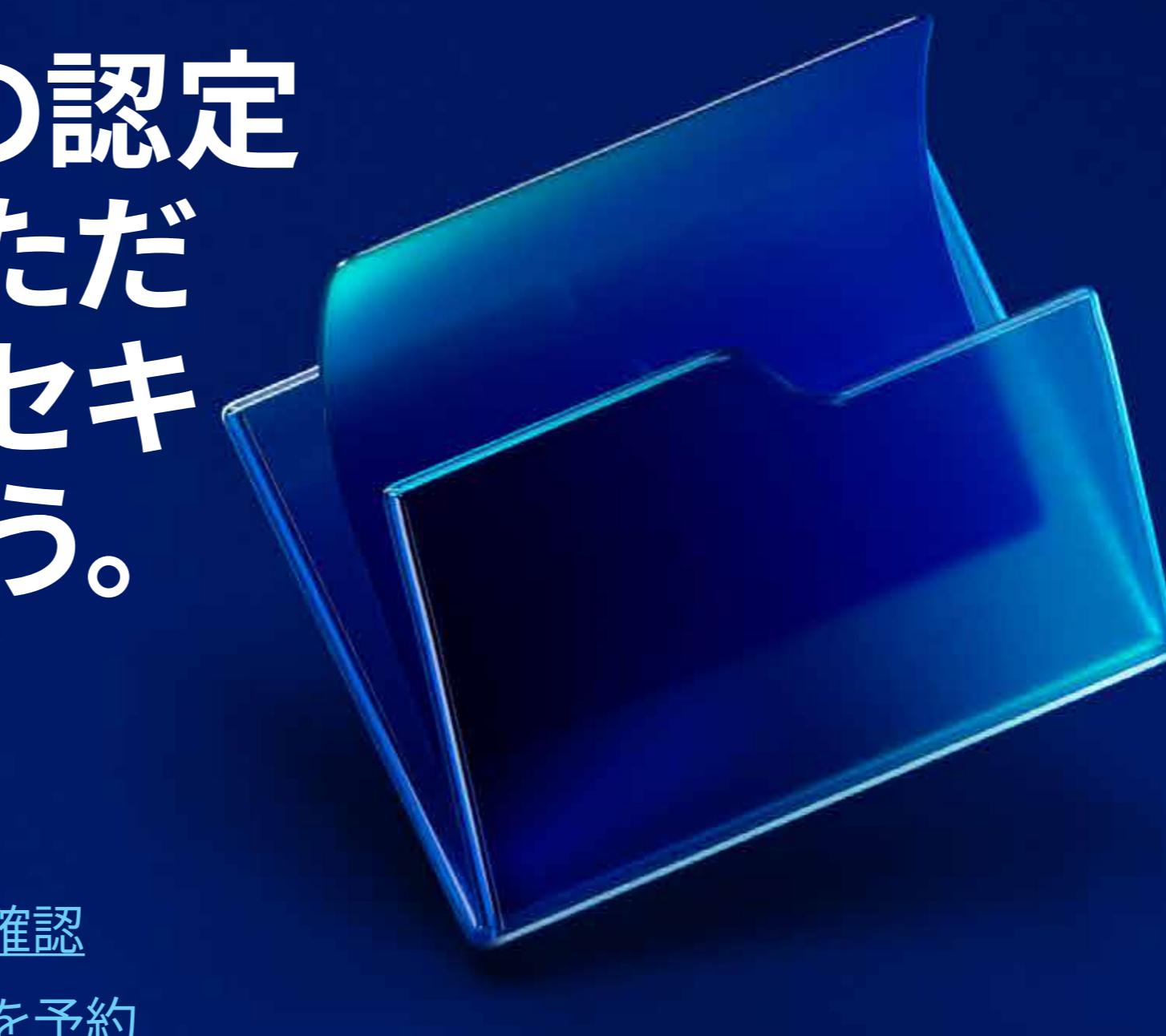
実装における慣行:

開発者トレーニング、安全なコーディング標準、コードレビュー



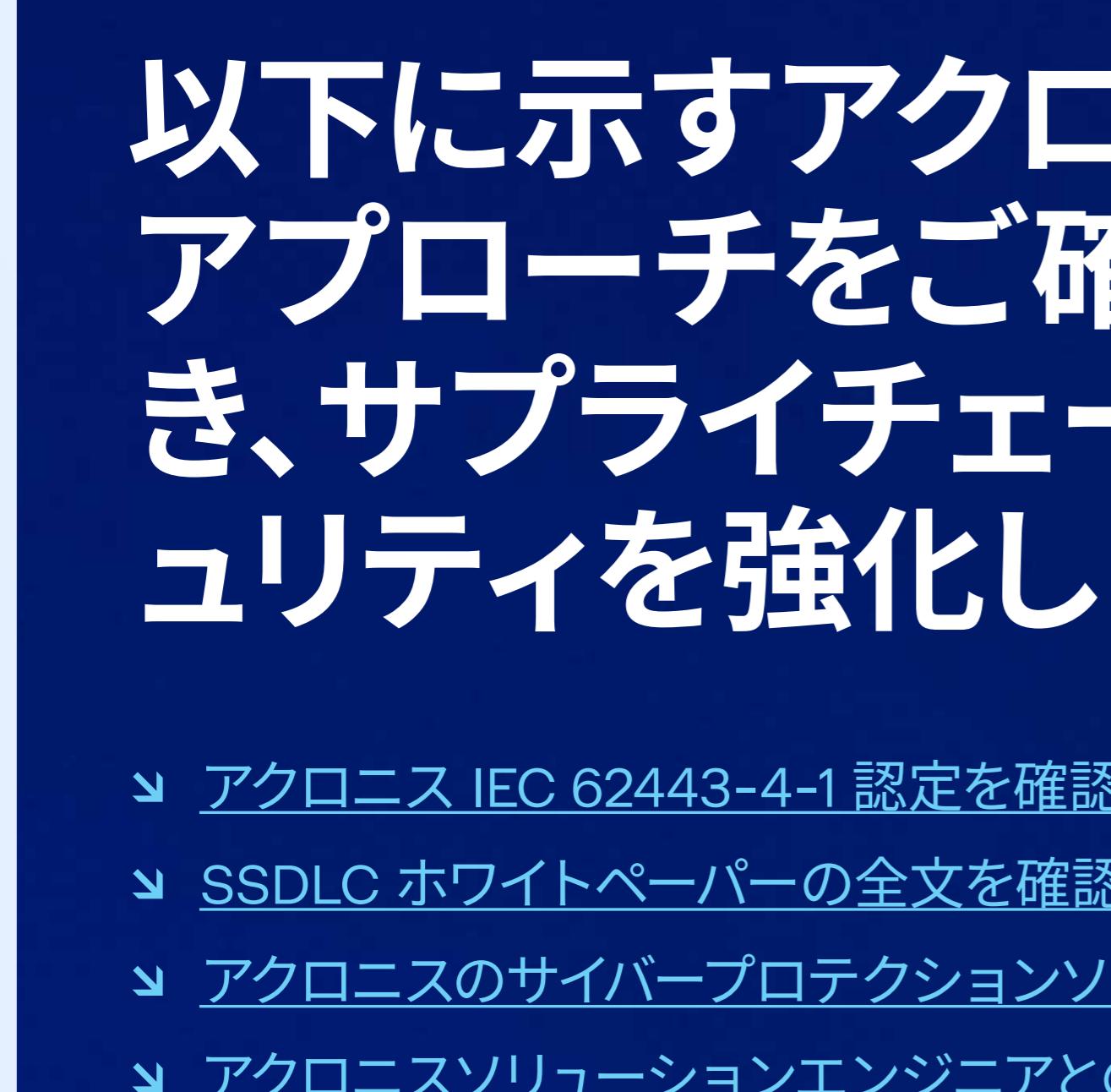
検証と妥当性確認:

自動テスト、侵入テスト、サードパーティによる妥当性確認



リリースとデプロイメント:

パイプライン強化、コード署名、環境の分離



アクロニスについて

アクロニスは、産業環境における安全な製品開発の最高基準であり、アクロニス製品がセキュリティを中核に据えて設計されていることを証明しています。これにより、OT 関連の顧客とパートナーはアクロニスソリューションによるサプライチェーンリスクの低減、および規制コンプライアンス (NIS 2 や DORA など) の簡素化に対して信頼を高めることができます。

アクロニス IEC 62443-4-1 認定を確認

SSDLC ホワイトペーパーの全文を確認

アクロニスのサイバーセキュリティソリューションを確認

アクロニスソリューションエンジニアとの相談 (1 対 1) を予約

詳細はこちら

以下に示すアクロニスの認定アプローチをご確認いただき、サプライチェーンのセキュリティを強化しましょう。

アクロニス IEC 62443-4-1 認定を確認

SSDLC ホワイトペーパーの全文を確認

アクロニスのサイバーセキュリティソリューションを確認

アクロニスソリューションエンジニアとの相談 (1 対 1) を予約

¹ Verizon 2025 Data Breach Investigations Report